

防災DXで行政支援

対 台風16号 東京・八丈町で検証

オリコンサル

オリエンタルコンサルタツは、防災DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、東京都八丈町で



災害対策本部内における支援職員による情報収集・提供

の防災行政マネジメントシステムを支援するとともに、9月30日から10月1日にかけて同町を襲来した台風16号での災害対応を検証した。

地方自治体で防災行政を担う職員数が限られている中、同社は9月1日から社会実験として「防災行政マネジメントシステム」を導入し、同町での防災行政マネジメントを支援している。

具体的には、チャット機能やウェブ会議、ウェアラブルカメラなどのコミュニケーションツールを活用し、避難所の開設状況や混雑状況、備品などの在庫状況と、災害現場

の状況などを災害対策本部にリアルタイムに報告・共有することで、速やかな全体把握や円滑な対策指示を支援。また、各避難所や災害現場からの報告や提出書類をパソコン上で集約し、国や都道府県への報告も迅速化する。

台風16号への対応では、早期注意情報が発表された9月29日から台風が通過した翌日の10月2日まで、同社の職員4人を町役場と避難所に派遣し、避難所の運営補助やシステムを活用した災害対策本部での情報収集・提供と情報共有などの災害支援とシステム検証を実施した。

同社は、今回の検証で得られた知見を踏まえて、DX技術を活用した防災行政マネジメントへの支援を今後さらに積極展開していく。